

3.9 千代田総行動を実施

大幅賃上げで物価高から暮らし・雇用・いのちを守り、平和を壊す

大軍拡・大增税に反対し連帯の力で23春闘、争議解決を掲げて

区内5駅頭で早朝宣伝 3460枚配布

3月9日、千代田区春闘共闘は、朝から、「大幅賃上げで物価高から暮らし・雇用・いのちを守り、平和を壊す大軍拡・大增税に反対し連帯の力で23春闘勝利、争議解決をめざす」ことを掲げて千代田総行動を実施しました。

朝8時から9時半の間で総行動チラシ（大幅賃上げ、大軍拡反対等の訴えとJAL争議支援の内容）と未組織労働者向けチラシを神田駅、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅の区内5駅頭で20人の参加で合計3460枚を配布しました。晴天に恵まれ、春めいてきたときであり、駅利用者にテッシュを受け取ってもらいました。



（上写真は霞が関での宣伝）

暮らしと営業を守れと消費税減税・インボイス制度中止で麹町と神田税務署に要請



税務署への要請

麹町税務署と神田税務署に対し、内閣総理大臣宛、財務大臣宛に、消費税減税・インボイス中止、大軍拡・大增税反対で要請しました。

（3Pの要請書参照）要請書は、千代田区春闘共闘と賛同4団体（岩波書店労組、千代田民主商工会、千代田区職労、電算労協議会）が名を連ねました。

10時から麹町税務署の10階会議室で要請。対応は、総務課長と課長補佐でした。千代田区春闘共闘側からは13人が参加しました。

茂呂議長が要請書を読み上げて手交。「大軍拡による大增税に反対し、物価高の中で効果ある消費税減税と死活問題として161万者に影響あるインボイス制度の中止を」と強く訴えました。

また、小番さんからは、「取引先などでインボイス制度の影響を受ける者が多くいる」として中止を求めました。香取さんからは、「軍拡など予算の使い方がおかしい。税金は取れるところから取ってほしい。物価対策など庶民の生活に使ってほしい。インボイス制度の影響は大きいので中止を」と訴えました。また、水久保さんからは、「インボイス制度が十分に理解されていない。当該の人には深刻な影響がある」と中止を訴えました。

総務課長からは、要請書の内容、要請内容を上部に伝えるとのコメントがありました。

神田税務署 国税庁に報告する

10時半からは、神田税務署 1階応接室で総務課長と課長補佐が対応。千代田区春闘共闘側からは13人が参加しました。麹町税務署での要請と同様に茂呂議長が要請書を読み上げて手交し、同趣旨の内容で要請しました。小番さんと香取さんも同趣旨の内容で要請。なお、水久保さんからは、業務委託について、インボイスの影響はあるのか否か聞きたいと質問。

総務課長からは、要請書の内容、要請内容を国税庁に伝えるとのコメントがありました。また、質問については、後日回答することになりました。

インボイス制度については、2023年10月から実施予定ですが、関係する団体などから問題視する声が多く上がり、2023年から6年間は、納税の軽減措置が設けられました。しかし、課題は、解決したわけではなく、インボイス制度の中止、そして、消費税減税を強く求めていくことが重要となっています。

通信産業本部の23春闘ストライキ集会に参加 賃上げ低額回答の打破に向けて

13時から50分間、NTT持ち株会社がある大手町ファーストスクエア EAST タワー前で、通信産業本部は、大幅賃上げ、賃下げにつながる「ジョブ型」人事制度の撤回等を求め、ストライキを行い、集会を開催しました。

国民春闘共闘の全国統一行動の中で、JMITUの通信産業本部がストライキを決行。そのスト集会に、千代田区春闘共闘として旗を持って参加しました。千代田区春闘共闘からは12人が参加しました。全体で約70人の参加でした。

冒頭、挨拶したJMITU委員長の三木さんは、「3月8日の回答は、7430円、2.86%。昨年より1800円上回った。1万円を超える回答もある。しかし、物価高騰の中では、賃下げに等しい。NTTの巨額の内部留保を吐き出させ物価高に見合う賃上げ求めて、低額回答を打破し、引き続きたたかう」と決意を語りました。

JMITU通信産業本部の宇佐美さんは、「NTTは労働組合の要求に対し有額回答を示していない。その姿勢は、労働者の生活に無責任で不当な対応である。物価高の中、低額回答を許さない、ストライキでたたかう」と決意表明。激励のあいさつでは、全労連事務局長の黒澤さんが「全国で統一行動としてストライキなどでたたかっている。昨年よりは、賃上げが高くなっているが、要求からみて、物価高の中では賃上げ額が足りない。今、日本にはストライキが必要。それでこそ、労使対等で交渉ができる。そして、企業は、社会的責任を果たすべきだ。仲間を増やし、労働組合に結集してたたかおう」と挨拶。

続いて、JHU・JAL被解雇者労働組合の山口委員長が「JAL経営とたたかっている。業務委託提案で合意した組合・争議団もあるが、我々は、納得できないのでたたかっている。引き続き支援してほしい。JAL争議は、人権問題である。ベテランから首を切る航空会社はどこにもない。解決しようとしないうちにJAL経営に問題があると自民

党の議員も言う。無責任体質は、安全軽視にもつながる。最後までたたかう」と連帯して挨拶。最後に、NTT持ち株会社に向かって、シュプレヒコールを行い、スト集会を終えました。



23春闘要求を手を持つ参加者



NTT持ち株会社へこれからコール！

有楽町マリオン前で核兵器廃絶、大軍拡・大増税反対の宣伝

14時25分からは、有楽町マリオン前で、6・9行動の宣伝を行いました。核兵器廃絶・大軍拡反対のチラシと「変えるリーフ3」を400枚配布しました。11人の参加でした。

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める署名について、通行者2人から署名してもらいました。

3月に続いて、4月13日にも千代田総行動を行います。今度は、神保町の昼休みデモも行います。総括会議では、参加者を増やし大いにアピールし、引き続き、がんばることを確認しました。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)

* 千代田区労協通信バックナンバー /

http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。



有楽町マリオン前での6・9行動宣伝

内閣総理大臣 岸田文雄 殿

2023年3月9日

財務大臣 鈴木俊一 殿

暮らしと営業を壊す大軍拡・大増税に反対し、消費税減税・インボイス制度の中止を求める要請書

千代田区春闘共闘委員会 議長 茂呂文彦

さて、政府は、防衛3文書を閣議決定し、戦後の安保政策の大転換を図ろうとしており、日本の平和を脅かす動きが増えています。専守防衛をなきものにし、戦後の防衛政策の大きな転換点を図るものです。

憲法の恒久平和主義に基づく戦後日本のあり方を根本から変え、日米軍事同盟を一層強化するもとの戦争国家づくりの道を突き進もうとするものです。

しかし、軍拡では軍事緊張を高めてしまい、平和はつくれません。経済取引がグローバル化している現在、台湾有事など戦争になれば日本経済も庶民の生活も壊されることになります。

岸田首相は軍事予算の確保のため、年間1兆円規模を増税でまかなうことを打ち出しました。岸田首相は、抑止力のためには軍拡は必要と増税を正当化していますが、物価高やコロナ禍で苦しむなかでの増税は暮らしや営業を破壊します。

世界では、100の国と地域が付加価値税（消費税）の減税を実施し、電気代や食料品の税率をゼロに引き下げ、庶民の生活や中小業者の経営を守っています。日本は先進国でありながら未だに実施せず、後進国となっています。

また、2023年10月から実施予定のインボイス制度は、小規模業者やフリーランスに死活的な影響を与えるもので、その中止を求める世論は高まっています。インボイス制度の導入で2480億円もの税収増が見込まれますが、軍拡財源になると危惧されます。インボイス制度の導入は、今、物価高騰で消費税減税が求められる中、それとは逆の消費税増税の突破口にするものではないでしょうか。

所得税、法人税を負担能力に応じて集めることで約46兆円以上の財源が確保できるのではないのでしょうか。不公平な税制を正せば、消費税に頼らない税制に変えることができます。

以上のことから、私たちは、大軍拡・大増税ではなく、物価高騰から庶民の暮らしや営業を守るために、消費税減税とインボイス制度の中止を強く求めるものです。